

地域包括ケアネットワーク No.67

高梁市の現状と活動

高梁医師会理事 野村 良明

地域包括ケアネットワークを推進しようにも保健医療従事者の人材が不足しては思うに任せない。こんな状態が高梁市では続いています。

まず、医師数の絶対的な不足および高齢化がすすみ、後継者問題も現実味を帯びています。

また、人口が減少していることに加え、医療圏が広域であり新規の開業も望めません。さらに、病院の医師も不足しているため、在宅医療に手を広げる余裕のある病院はありません。看護師については、これも不足し高齢化が進んでいることは以前よりわかっています。

平成29年度岡山県備北保健所より高梁医師会に「地域医療の魅力UP紹介事業 看護の魅力ガイダンス」事業の単年協力依頼がありました。吉備国際大学2年生と専門学校の1年生を対象に医師会長が「中山間地域の医療の現状、看護の役割と魅力」について基調講演を行い、続いて看護の活動紹介、「中山間地域の看護の取り組みと魅力」について3名でシンポジウムを開催しました。平成30年度には、岡山県医師会による医療介護連携体制整備事業の補助金をいただくことで、この事業を継続することが可能になりました。同時に高梁市、看護協会、市内4病院、協力していただいた看護師の就職に向けた活動などもあり、昨年市内に就職した看護師が5人であったのが本年は18人に増加しました。

令和元年度も行政とともに以下の事業等を計画しております。

1) 看護職の地域医療スキルアップと人材育成

- ①研修企画会議
- ②施設間の連絡会
- ③リーダー育成研修
- ④スキルアップ研修
 - ・フィジカルアセスメントについて（基礎編、循環器、呼吸器）
 - ・緩和ケアについて
 - ・皮膚・排泄ケア・胃瘻について
 - ・認知症研修
 - ・摂食・嚥下研修

2) 訪問看護ステーションの連携構築

3) 人材確保のための学生へのPR

- ①看護学校等訪問
- ②病院見学会（市内4病院）
- ③看護の魅力ガイダンス（吉備国際大学）
 - ・基調講演
 - ・活動報告（病院看護師、施設看護師、訪問看護師、保健師）

4) 普及啓発活動

- ①DVDの作成
- ②市の広報誌の活用継続
- ③ACPをテーマとした市民向け研修会
- ④市民公開講座

本年度も岡山県医師会から支援いただけることになり、さらに充実した活動により地域包括ケアシステム構築、人材確保をすすめていきたいと思っております。